

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号		1-1-3	取組項目名	博物館の魅力向上				
所管		文化観光		局	博物館	部	学芸	課
〔P〕 取組内容	実施内容	博物館展示場のリニューアルを実施し、観覧者に見やすくわかりやすく興味深い展示にすることにより、博物館施設の魅力を向上させ入館者数を増やします。また、博物館で販売するグッズを、来館者のニーズに沿って開発し、購入者が堺市及び堺市博物館への来館を記憶にとどめ好印象を残せるものとします。						
	目標	H30	入館者数 170,000人					
		R1	入館者数 170,000人					
		R2	入館者数 200,000人					
〔D〕 実績・進捗状況	H30	入館者数 158,147人						
		H30の達成度	c	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
	R1	入館者数 266,721人						
		R1の達成度	a	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
		H30～R1の達成度	a	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
	R2	入館者数 86,933人						
		R2の達成度	d	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
		H30～R2の達成度	c	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
	行革効果額 の見込み 及び実績		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		見込み	- 百万円		- 百万円		- 百万円	
		実績	- 百万円		- 百万円		- 百万円	
〔C〕 評価	評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良					
	課題分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大(以下「コロナ禍」)の影響により、入館者数は前年度の1/3まで落ち込む状況となった。博物館のリニューアルについては、当初の予定どおり令和3年3月13日にオープンした。 グッズ開発については、当館が所蔵する資料をモチーフとした新商品をはじめ、売れ筋グッズのデザイン変更や増し刷りなど、職員間で工夫を凝らして商品開発に取り組んでいる。						
〔A〕	改善策	当該事業については、令和2年度をもって廃止し、グッズ開発は、「普及広報事業」にて予算化して実施することとなった。グッズ開発については、令和3年度は関西大学との包括連携協定を活用して、市場調査や商品開発を共同して実施するなど、堺市博物館オリジナルの魅力的なグッズ開発に取り組む。						
備考								